



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名 新東工業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 6339 URL <http://www.sinto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 淳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート部長 (氏名) 春田 則之

TEL 052-582-9211

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	19,863	0.1	483	△54.7	740	△48.2	155	△77.1
24年3月期第1四半期	19,852	19.6	1,066	316.2	1,429	249.2	679	186.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 555百万円 (57.1%) 24年3月期第1四半期 1,294百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	2.86	—
24年3月期第1四半期	12.51	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	103,655	67,592	63.4	1,210.56
24年3月期	105,077	67,385	62.4	1,208.47

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 65,725百万円 24年3月期 65,612百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	6.00	—	7.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,000	10.4	2,500	19.7	2,700	8.9	1,400	8.3	25.79
通期	90,000	8.3	5,500	10.8	5,800	3.2	3,100	9.0	57.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	56,554,009 株	24年3月期	56,554,009 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	2,260,569 株	24年3月期	2,260,277 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	54,293,516 株	24年3月期1Q	54,295,011 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記の予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の経済状況は、海外では、欧州での金融・財政不安、中国の成長鈍化などで不透明な状況が継続いたしました。国内では、東日本大震災の復興需要等を受けて、設備投資は緩やかな回復基調となりましたが、円高の長期定着などを背景に、依然として弱含みで推移いたしました。

当社グループの事業環境につきましては、海外では、中国など新興国で減速懸念があるものの、主要ユーザーである自動車関連の設備需要が堅調に推移するとともに、国内では、主に投射材やメンテナンス部品などのアフターマーケット需要によって下支えされました。

こうした情勢の下、当第1四半期連結累計期間の受注高は22,773百万円（前年同四半期比3.7%増）、売上高は19,863百万円（同0.1%増）、受注残高は29,883百万円（同7.5%増）となりました。

収益面につきましては、原価率の悪化と経費増の影響で、営業利益は483百万円（同54.7%減）となりました。経常利益は740百万円（同48.2%減）、四半期純利益は155百万円（同77.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### [鑄造分野]

中国、インドなど新興国での自動車部品向け鑄造装置が堅調に推移するとともに、北米市場でのシェールガス採掘向けサンドコーティング設備が売上に寄与して、売上高は7,976百万円（同8.6%増）となりました。

営業利益につきましては、大型鑄造プラントの採算悪化があり、456百万円（同41.1%減）となりました。

#### [表面処理分野]

表面処理装置は、自動車部品向けにショットピーニングマシンの需要がありましたが、造船業界向け大型表面処理設備の一巡などで低調に推移いたしました。装置に使用する投射材は、南米で売上鈍化がありましたが、国内での自動車関連業界等の設備稼働率の上昇を受けて、底堅く推移いたしました。分野全体の売上高は、表面処理装置の売上減により、7,807百万円（同7.6%減）となりました。

営業利益は、表面処理装置の減収が影響して、613百万円（同33.3%減）となりました。

#### [環境分野]

セメント業界向けの大型集塵装置が売上に寄与するとともに、メンテナンス部品が堅調に推移いたしました。VOCガス浄化装置が減少に転じ、売上高は1,799百万円（同0.7%減）となりました。

営業損益は、損失額が圧縮されたものの、63百万円（前年同四半期は115百万円の損失）の損失となりました。

#### [搬送分野]

福祉・医療関連向けのリフト、自動車部品向けのコンベアの需要が、それぞれ回復基調に推移して、売上高は1,107百万円（前年同四半期比11.6%増）となりました。

営業利益は14百万円（前年同四半期は59百万円の損失）の黒字計上となりました。

#### [特機分野]

資源・エネルギーの再利用向け造粒装置が売上に寄与したものの、液晶パネル向けハンドリングロボット及びフラットパネルディスプレイ向け精密計測機器がともに低調に推移し、当分野の売上高は1,387百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

営業損益は151百万円（前年同四半期は86百万円の損失）の損失となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前期連結会計年度末に比べ1,422百万円減の103,655百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が減少したこと等によって流動資産が1,351百万円減少したことに加え、子会社の新工場建設により有形固定資産が増加する一方、投資有価証券の評価減で投資その他の資産が減少したこと等によって固定資産が70百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前期連結会計年度末に比べ1,629百万円減の36,063百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,092百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前期連結会計年度末に比べ207百万円増の67,592百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が748百万円減少した一方で、為替換算調整勘定が1,032百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更が当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,922	13,906
受取手形及び売掛金	31,481	30,026
有価証券	4,875	4,675
製品	1,825	1,687
仕掛品	3,731	4,858
原材料及び貯蔵品	2,811	3,007
その他	2,673	2,903
貸倒引当金	△316	△411
流動資産合計	62,005	60,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,510	8,817
機械装置及び運搬具（純額）	3,723	5,184
土地	5,163	5,225
その他（純額）	3,702	1,940
有形固定資産合計	20,099	21,168
無形固定資産		
のれん	576	595
その他	1,549	1,547
無形固定資産合計	2,126	2,142
投資その他の資産		
投資有価証券	16,586	15,370
その他	4,291	4,351
貸倒引当金	△31	△30
投資その他の資産合計	20,846	19,690
固定資産合計	43,072	43,001
資産合計	105,077	103,655

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,722	13,630
1年内償還予定の社債	2,632	2,632
短期借入金	2,750	3,270
未払法人税等	1,104	154
賞与引当金	1,661	856
役員賞与引当金	149	36
プラント保証引当金	304	314
受注損失引当金	192	199
その他	6,957	8,152
流動負債合計	30,474	29,246
固定負債		
社債	431	365
長期借入金	1,365	1,324
退職給付引当金	2,519	2,471
役員退職慰労引当金	188	174
環境安全対策引当金	67	67
資産除去債務	114	114
その他	2,531	2,297
固定負債合計	7,217	6,816
負債合計	37,692	36,063
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,752	5,752
資本剰余金	6,269	6,269
利益剰余金	55,580	55,410
自己株式	△1,305	△1,306
株主資本合計	66,296	66,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,586	1,837
為替換算調整勘定	△3,271	△2,238
その他の包括利益累計額合計	△684	△400
少数株主持分	1,772	1,867
純資産合計	67,385	67,592
負債純資産合計	105,077	103,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	19,852	19,863
売上原価	14,104	14,465
売上総利益	5,748	5,398
販売費及び一般管理費	4,681	4,914
営業利益	1,066	483
営業外収益		
受取利息	70	20
受取配当金	119	123
為替差益	86	86
負ののれん償却額	0	0
持分法による投資利益	72	52
その他	74	35
営業外収益合計	423	320
営業外費用		
支払利息	23	33
その他	36	29
営業外費用合計	60	63
経常利益	1,429	740
特別利益		
固定資産売却益	9	2
特別利益合計	9	2
特別損失		
投資有価証券評価損	88	184
減損損失	24	10
その他	3	0
特別損失合計	116	196
税金等調整前四半期純利益	1,322	546
法人税、住民税及び事業税	265	261
法人税等調整額	304	81
法人税等合計	570	342
少数株主損益調整前四半期純利益	752	203
少数株主利益	72	48
四半期純利益	679	155



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	752	203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	△750
繰延ヘッジ損益	△4	—
為替換算調整勘定	537	969
持分法適用会社に対する持分相当額	51	133
その他の包括利益合計	542	352
四半期包括利益	1,294	555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,204	439
少数株主に係る四半期包括利益	90	116

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋳造 分野	表面処 理分野	環境 分野	搬送 分野	特機 分野	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	7,259	8,450	1,745	982	1,405	19,843	9	19,852	—	19,852
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	87	—	67	9	43	208	494	702	△702	—
計	7,346	8,450	1,812	992	1,449	20,051	503	20,554	△702	19,852
セグメント利益 又は損失 (△)	774	919	△115	△59	△86	1,432	16	1,449	△383	1,066

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計、情報関連及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△383百万円には、セグメント間取引消去22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△405百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋳造 分野	表面処 理分野	環境 分野	搬送 分野	特機 分野	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	7,857	7,807	1,715	1,098	1,349	19,829	33	19,863	—	19,863
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	118	—	84	9	37	249	372	621	△621	—
計	7,976	7,807	1,799	1,107	1,387	20,078	405	20,484	△621	19,863
セグメント利益 又は損失 (△)	456	613	△63	14	△151	869	15	884	△401	483

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計、情報関連及び福利厚生事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△401百万円には、セグメント間取引消去37百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△438百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、鋳造事業のグローバル展開を進めるにあたり、鋳物部品の製造が今後の鋳造分野拡大のために重要な要素であるとの観点から、事業体制の見直しを行ったことに伴い、従来は「表面処理分野」に含めておりました耐摩耗鋳物の製造販売事業を、「鋳造分野」へ変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記の変更を反映した報告セグメントに基づいて作成したものを開示しております。

(関連情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
10,477	3,418	1,652	1,547	1,572	1,183	19,852

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………アセアン諸国・台湾・韓国
- (2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ・カナダ
- (3) ヨーロッパ……………ドイツ・ロシア・ポーランド
- (4) 南アメリカ……………ブラジル

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
11,016	2,632	1,775	2,120	1,389	928	19,863

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………アセアン諸国・台湾・韓国
- (2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ
- (3) ヨーロッパ……………ドイツ・トルコ
- (4) 南アメリカ……………ブラジル